

西村大臣記者会見要旨（TPP委員会後）

令和3年6月2日（水）10時45分～10時58分（13分）

（於：中央合同庁舎第8号館1階S101・103会見室）

昨日、会見の時間がなかったので説明できなかったモニタリング検査だけ、ポイントだけ申し上げます。

5月の24日の週に、4万6,000件配っております。回収できたのは前の週の3万7,000件の分が回収されていきますので、3万2,000件ということで、約1日5,000件くらいの検査になっております。今週は約7万件を配布予定で、今、配布しつつありますので、目標としておりました1万件の配布になりますので、検査は一週遅れますけれども、ほぼ目標に達することになります。陽性疑い48件で、ちょっと細かいですが、やはり感染拡大している愛知10名、福岡10名、大阪7名、兵庫7名など出てきております。これは細かいあれですが、後で見てください。

やはりですね、陽性疑い、この30代で件数は割とまんべんなく行っているんですけども、特に若い世代が30代までで半分を超え、40代まで入れると約3分の2ということになります。ワクチン接種がですね、高齢者、着実に円滑に進んでいく中で、7月末までに2回終わる。そうすると、逆算すれば7月10日までに1回目が終わるメドが付いてくるということで、6月21日からは職場や大学などでも接種が進んでいくことになりそうですけれども、ワクチンと検査、若い世代の検査をですね、しっかりとやっていくということで、既に先般発表いたしました抗原検査キット80万回分を大学、専門学校などに配るべくですね、調整をしているところであります。このモニタリング検査を、若い世代を中心に、特に感染が広がっている地域、あるいはリスクのある作業所、現場などで行っております。

既に申込みがですね、大学など教育機関で約310の団体、それから幼稚園、保育園で1,140の団体が申込みを受けておりますので、それぞれ調整を進めているところであります。

効果的に感染日を特定して、感染拡大を防いでいきたいと思いますが、事例として、先般、口頭で申し上げましたが、3つだけ事例を挙げますと、A公演、ある公演を予定した舞台公演ですけれども、モニタリングの中で、既に予定者に陽性者が判明して中止をいたしました。クラスター回避をするということ

で。同僚の1名の感染特定を急ぎます。その後、全員検査を行っております。

B建設業で1名の無症状がいたのを、社員の検査を行って陽性者を特定しております。

それから、C日本語学校で2名の陽性者、無症状、いずれも無症状ですね。検査を行っております。無症状の段階で、特定をしておりますね、もちろん誰にもうつさない人もいますけれども、その後、発症すれば、その2日前、3日前が非常にうつす機会になりますので。この無症状の時期に特定をしようということ、感染を抑えていくということになります。

さらに、こうしたことを踏まえてですね、申し上げておりました北海道新千歳空港でも、モニタリング検査を行うべく調整を進めております。沖縄は沖縄県の方で今、那覇空港で行っておりますけれども、千歳空港の方は私どもモニタリングで行うということで進めております。いずれにしてもワクチン接種を円滑に進めていくことと、そして、若い方を中心に検査を広げていくことで、感染拡大を抑えていければと考えております。

私からは以上です。